株式会社フェアリーS.ガーデン

設備投資のみ
【対象類型】 新規顧客層への展開、商圏の拡大、独自性・独創性の発揮 他

新設備導入と新工場の移転による生産能力の向上と新業務の推進

ドッグフード製造のための新設備導入と新工場の移転により生産能力を向上させるとともに、ペット犬の健康管理というニーズに合わせたペット犬ごとの「カウンセリング型ドッグフード製造販売事業」を推進する。



本事業への取組みの経緯

当社は、通信販売や百貨店等への卸売りを中心に業容を拡大してきた経緯があり、今後も既存取引の拡大や新規取引先の開拓を進めることで取引拡大が見込まれていた。

一方で商品づくりへのこだわりを追求するため、商品製造の全てを自社工場で生産しているが、自社工場の稼働率が限界に達しており生産能力向上のための設備投資を決意した。

更に、ドッグフード業界は大手企業の参入や市場の縮小といった競争環境が厳しさを増しており、独自色を打ち出したサービス展開を行うため「アレルギー体質のペット犬に対応したカウンセリング型ドッグフード製造販売事業」を強化することとした。


新たに導入した設備で作ったドッグフード

- 代表取締役：佐藤 繁樹
- 設立：平成26年10月1日
- 〒740－1225　山口県岩国市美和町渋前 1363－1
- TEL：0827－96－0960　● FAX：0827－96－0960
- URL：http://www.f-s-garden.com/
- E-mail：fairy-s-garden@y4.dion.ne.jp
- 資本金額：500万円　● 従業員数：5人
- 業種：その他製造業

会社概要

当社は、「犬たちに優しいフードを」という思いから、約30年にわたり大手百貨店のバイヤーを務めた代表者がその経験を活かし平成18年に創業した。

当社の商品は、食品問屋等から仕入れた人間用の原材料を使い、検査を実施し自社工場内で製造を行っており、保存料を一切使用せず無添加で安心なドッグフードづくりを行っている。

本事業実施の内容

1.工場移転と新規設備導入による生産能力の向上

生産能力の向上にあたり加工工程上、ドッグフード製造機械の台数に生産能力が比例することから、新たな設備の導入が必要であった。しかしながら、既存の工場では新たな設備の導入が困難であったため、近接する空き倉庫を借り受け既存設備とともに工場機能の移転を実施した。

また、新たにミキサー、ミートチョッパー、乾燥機も導入した。


新たに導入した設備ミキサー、ミートチョッパー、乾燥機

2.カウンセリング型ドッグフード製造販売事業の展開

アレルギー症状を持つ犬に対するドッグフードづくり等を行うために、専門家のアドバイスを得た。また、アレルギー症状とアレルギー食材・物質の関係性を把握し、ノウハウの蓄積を目的として個別カウンセリングカルテとペット犬用データベース入力フォームのIT化に取り組んだ。

事業取組の成果

1.工場移転と新規設備導入による生産能力の向上の成果

工場移転と新たな設備導入により、現状の約2倍の生産能力向上が実現した。また、アレルギー体質のペット犬に対応した新事業を展開する上では、アレルギー症状に合わせた食材の配合や量の変更が必要であり、アレルギー物質が残存しないように機械のこまめな洗浄が必要となるため、設計段階からメーカーとの検討を実施した。この結果、新たに導入する機械設備はコンパクトな造りで且つ洗浄のしやすさを重視したものとなり、作業の効率化と商品品質の向上が実現した。

2.カウンセリング型ドッグフード製造販売事業の展開

これまで当社にドッグフード注文のあった犬のそれぞれのアレルギー症状はデータ蓄積により、アレルギー症状と原因食材・物質の関係性を自社固有のノウハウとして蓄積できている。

また、それぞれのアレルギー症状に適合したレシピ作成の正確性と効率性やリピート注文への迅速な対応に繋がるカウンセリング型ドッグフード製造販売の一連プロセスのデータベース化については継続して取り組んでいきたい。

今後の展望


代表取締役：佐藤 繁樹

ペット犬の飼育数は年々減少の一途をたどっているが、人間と同じようにペット犬の高齢化が進んでおり、2014年時点で平均寿命は14.17歳となっている。このペット犬の高齢化とともにペット犬の介護問題も表面化してきており、健康管理に対する注目度は高まっている。また、現在ペット犬の3頭に1頭はアレルギー症状を持っていると言われており、人間同様にアレルギー症状の完治は難しい。この治療には、ステロイドによる対処療法が主流となっているが、一時しのぎの処置でありそれぞれのアレルギー症状にあったドッグフードを提供することでアレルギー症状の根本的な緩和を目指していく方針である。